

放射性同位性元素ラジウム 226 の発見について

2011 年 8 月 2 日

コニカミノルタエムジー株式会社

コニカミノルタエムジー株式会社（本社：東京都日野市、社長：児玉 篤）では、管理下でない放射性同位性元素ラジウム 226（以下、ラジウム 226）を、東京サイト（日野）内研究棟の実験室において発見しましたので、文部科学省に報告するとともに、管理体制の徹底を致しました。

当社はこの度、実験室の移動のため、室内清掃をしていた際に実験機の引き出しから、「放射線源 Pb（鉛）ケース入り」と書かれた鉛の箱状容器を発見し、専門業者に分析を依頼したところ、ラジウム 226（推定数量：1.13MBq）であることが判明しました。当社では、X線画像入力機器を中心に医療分野の事業を展開してまいりました。当該のラジウム 226 は、現在は使用しておりませんが、40 年以上前に放射線量を測定する機器の値の補正（校正）に使用していたものと推定致しております。

当事業所の敷地境界の放射線を測定した結果、自然レベル（ $0.1\mu\text{Sv/h}$ 以下）であり、周辺への影響はございません。また、従業員への影響も当該実験室内を測定した結果、線量が微弱であることから、安全性には問題ないレベルと考えます。現在、当該のラジウム 226 は、当該実験室を立ち入り禁止とした上で、実験室内で鉛容器に格納し厳重保管し、今後、専門機関で廃棄する方向にて調整を進めております。

地域の皆様、従業員への安全性に関する問題はないと判断しておりますが、ご心配、お騒がせすることを心よりお詫び申し上げます。

今後、行政当局のご指導の下、当社内での一層の管理体制の徹底を図ってまいります。

本件に関する報道機関からの問い合わせ先

コニカミノルタエムジー株式会社

総務グループ TEL: 042-589-1500